

7月の活動

○7月2日(水) 9時～10時 「北高上緑地巡回」(8名参加)

10時～11時45分 「堀スクール(第12回自然観察会)」(「葉の蒸散」「アオスジアゲハの幼虫の食樹としてのクスノキ」「水の少ない北高上緑地で見かけるハグロトンボ」など)(14名参加)

○7月5日(土)10時～15時30分 「わいわいフェスティバル2025」(活動紹介パネル・DVD・チラシ、北高上緑地のパンフ、缶バッジ配布、竹炭・竹酢液販売、竹細工)(16名参加)

○7月7日(月) みんなの小屋北西側の物置設置作業(4名参加)

○7月9日(水) 9時～11時 「北高上緑地巡回」(3名参加)

9時～11時 「維持管理作業」(南側駐車場北側法面の除草、笹刈り)(15名参加)

13時30分～15時30分 「森づくりクラブ」(11名参加)

- 「わいわいフェスティバル2025の振り返り」(昨年より来場者多い印象(ブース来訪200人と報告)、竹の銚による射的好評、竹炭7袋、竹酢液7本販売)
- 7月13日に北高上緑地で開催予定の「提携型大学連携協働事業」(スタンプラリー)は、申込み定員(小学生40名)に達した。事務局及び可能なメンバーで対応する。
- 本年度研修旅行を9月29日(月)・30日(火)、行き先岐阜市方面で検討協議
- 7月26日、四季の森で開催予定の「親子里山体験」の準備日程などについて協議

○7月13日(日) 9時30分～16時30分「提携型大学連携協働事業」(スタンプラリー)は、小学生38名+低学年児童の保護者の参加があり、盛況。事故なく、好評を博した。ただ、準備期間、リーダー会の協力体制などについての課題も明らかになった。(8名参加)

○7月16日(水) 9時～11時 「北高上緑地巡回」(第3週担当者)(7名参加)

○7月18日(金) 9時～11時30分 「四季の森散策路整備」(予備日に実施)(4名参加)

○7月23日(水) 9時～11時 「北高上緑地巡回」(第4週担当者)(8名参加)

13時30分～16時 「事務局会」(11名参加)

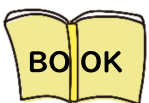
- 7月26日「親子里山体験」の準備日程、本番の役割分担について協議
- 7月13日「提携型大学連携協働事業」のふりかえり。準備不足だった。次回以降の類似事例の教訓としたい。
- 「北高上緑地・森づくり2025」完成。リーダー会により継続された保全活動によって、放置された里山林から現在の「市民に親しまれる故郷の森」に再生された。今後は「順応的管理活動」が求められるとし、各エリア・ポイントごとの保全管理方針が示されている。

市街地整備課にも手渡され、基本的に了承との回答

○7月24日(木) 9時～11時 「竹の切出し」(北新) 流しそうめん用と竹炭用の切出し(16名参加)

○7月26日(土) 8時30分～正午 「親子里山体験」 森の散策、竹のクラフト、竹切り体験、流しそうめん。8家族(大人13名、子ども18名)(愛院大生3名)(18名参加)

○7月30日(水) 9時～11時 「北高上緑地巡回」(第5週担当者)(名参加)



藤井一至著「土と生命の46億年史～土と進化の謎に迫る～」(講談社ブルーバックス)

著者は、「土の研究者」。カバーに、「土とは何か。土が語る46億年の地球と進化の物語」とあります。また、「はじめに」に「46億年の地球史を追体験し、豊かな土と生命、文明を生み出したレシピを復元することがこの本の目的である。」と書かれています。土がなければ人間を含めた生命は地球上に誕生しなかった可能性があるということです。

7月の「ひとこま」



★7/2 堀スクール (第12回自然観察会)



★7/2 巡回 井平さんデビュー!!



オオバノトンボソウ



クロアゲハ



イソノキ



★7/6 わいわいフェスティバル
リーダー会ブースの様子



★7/9 作業 駐車場法面の草刈り



★7/13
提案型大学
連携協働事業
(スタンプラリー)



コナラの萌芽更新



ヒメヤブラン



ヒラタクワガタ



★7/16 巡回 南十字路あたり



★7/18 四季の森 散策路笹刈り



★7/26



親子里山体験
(四季の森)



★7/24 北新田 竹切出し

